

1. 件名：「東通原子力発電所1号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（79）」

2. 日時：令和4年3月24日（木）10時30分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官※、永井主任安全審査官※、大井安全審査専門職、松末技術参与

東北電力株式会社 発電・販売カンパニー 土木建築部 部長 他7名※

同 東京支社 課長※

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・東通原子力発電所1号炉 コメントリスト(地震・津波関係)：審査会合
- ・東通原子力発電所 内陸地殻内地震のうち検討用地震の設定の概要
- ・東通原子力発電所 基準地震動の策定のうち内陸地殻内地震の地震動評価について(コメント回答)
- ・東通原子力発電所 基準地震動の策定のうち内陸地殻内地震の地震動評価について(コメント回答) (補足説明資料)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、おはようございます規制庁の岩田です。そうしましたらですね今からヒアリングを開始したいと思いますですがよろしいでしょうか。
0:00:14	はい。準備できております。本日もよろしくお願いいたします。
0:00:17	はい。そうしましたら資料の説明をお願いいたします。
0:00:24	はい。東北電力の福士です。本日よろしくお願いいたします。
0:00:29	今日用意した資料ですけれども、東通原子力発電所の内陸地殻内地震のうち、検討用地震の選定に関するものを3部用意してございます。
0:00:41	資料構成は前回、2月28日のヒアリングと同様でございます。
0:00:46	本日は前回ヒアリングでいただいたコメントの修正点について主に説明して参りたいと思います
0:00:55	まず資料のですね、新潟、0102って書いてある薄い資料、こちらは前回と変更ございませんので説明は割愛させていただきます。
0:01:08	次に、本編資料、番号で言いますと、0103階位置となっている資料になります
0:01:17	まず、
0:01:19	4ページの目次をお願いいたします。
0:01:24	前回ですね、4章の検討用地震の選定に、
0:01:29	際して、いろいろ
0:01:32	統一した記載するようにというようなコメントをいただいております。ここについて構成の見直しを全面的にかけております
0:01:40	次のページ、5ページですけれども5章については、それに伴う4章の見直しに伴う修正ということで大きな変更はございません。
0:01:51	ページ飛んでいただきまして、26ページ、4章をお願いいたします。
0:02:00	27ページこちらが地震動表、検討用地震の選定と地震動評価の基本的考え方及び全体フローになっています。
0:02:09	前回説明した際にはですね、このフローで言いますと、
0:02:14	左側に一章4章参照と並んでおりますけれども、
0:02:19	1章のですね、活断層被害地震から選ばれる、検討用地震のほかに、
0:02:25	武将地質構造上の特徴から想定する地震というのは、別の割り当てで検討地震として選ばれるというようなフローになっておりました。
0:02:34	今回それを見直しいたしまして、
0:02:37	主な被害シーン、主な活断層、それから、地質構造上の特徴から想定するものというのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	一度比較をして、その中で、影響の大きいものを検討用地震として二つ選んだというような構成に見直しをしております。
0:02:55	28 ページお願いいたします。
0:02:57	こちらは敷地周辺の被害地震、それから震源として考慮する活断層地震の、
0:03:04	検討用地震の選定の基本方針ということに記載しています。
0:03:08	こちらは、
0:03:10	前回ではですね、5章に記載していた内容になりますが、
0:03:14	活断層によるCのうちですね短い断層については、この最初の段階でM07.5の中の18条ということで、大きくしているということもございますので、
0:03:27	この4章の方に、説明を移しております
0:03:31	あわせて、(2)のですね、一番上の矢羽根に書いてございますけども、従前はなかった。
0:03:39	MΔ図というのも今回追加しております。
0:03:45	29 ページお願いいたします。
0:03:48	こちらは、各地震の諸元を記載しております。で、
0:03:52	前回はですね、等価震源距離と地震規模という表になっておりましたけども、エムゼロた図を用いるということで信用距離を追加したものに改めています。
0:04:04	それから、等価震源距離ですけども、
0:04:07	以前はですね、
0:04:10	均質な位置を断層から求めたものを記載しておりました。ただ、
0:04:14	敷地に近い、ここでいうと、横浜断層、出戸西方断層敷地東方断層、こちらについては、
0:04:21	下の米印1にありますように、敷地への影響が1大きいということで、アスペリティを考慮したモデルに等価震源距離を見直しをしております。
0:04:32	30 ページ、こちらについては、
0:04:36	活断層から、
0:04:38	活断層に想定する地震のMでラベルに出るた図になります。
0:04:43	ご覧のように、青い丸で記載した敷地東方沖断層程度西方断層横浜断層というのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:50	こういう震度6の領域に近いということで、この三つの影響が大きいだろうということで選抜したというものになります。
0:04:59	31ページ、こちらからは、地質構造上特徴から想定する地震ということで、
0:05:05	31ページ自体は、大きな変更はございません。
0:05:10	32ページ、こちらについては、
0:05:14	地質構造梁特徴から想定するし、具体的に言いますと、下北半島中軸部高速度層の高まりに基づく地震というものの諸元をどう設定するかというものを、
0:05:26	記載しております。ここは
0:05:28	地震動評価の基本方針、センター基本方針ということで、前回までは5章にあったものを、
0:05:36	4章にですね、移して、少しリバイスした形で記載をしております。
0:05:46	33ページお願いいたします。
0:05:49	こちらには、被害地震、それから活断層の地震、それから地質構造上の特徴から想定する地震というものを。
0:05:58	野田伊藤による評価を記載しております。
0:06:03	従前はですね、前回までは、
0:06:06	活断層の地震というのを、ずっとこう、
0:06:10	10数個記載していたんですけども、
0:06:12	先ほどのエムデルダ体制三つに選抜をしておりますのでここでは、活断層においては三つに絞ったと。
0:06:18	そしてさらに下北半島による中軸部構想挿入の高まりに基づく地震を記載したというものになります。
0:06:26	左側の図を見ていただくと、
0:06:29	全体でですね、上回るし、短周期については、赤の線、これは下北半島中軸部高速度層の高まりによる基づく地震が大きいと。
0:06:40	それから、長周期については、青い2点鎖線、こちらは横浜断層による地震が、
0:06:48	赤井清を上回るということで、
0:06:50	この二つの地震を、
0:06:52	検討用地震として選定するというふうに記載を修正してございます

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:59	34 ページこちらはまとめですけども、種目略浜断層による地震、それから、下北半島中軸部高速度層の高まりに基づく地震を選定したということ、
0:07:09	きちんと整理したと。
0:07:11	それからのですね藤4断層については、前回、33 ページの方に記載していたんですけども、ちょっとスペースの問題で、このまとめの方にですね、記載を移しており、
0:07:29	それからページ、飛びまして、
0:07:34	37 ページ。
0:07:41	になります。
0:07:43	こちらは横浜断層許しの基本ケースの設定ということで、
0:07:48	先ほど4章で説明した内容を、前回ではですねここに後期しっかり書き込んでいたんですけども、
0:07:54	要所に一部移しましたので、重複する分は削って簡素化した表現にしております
0:08:02	それから52ページお願い
0:08:08	こちらは中軸部高速度層の地震ですけどもこちらも同様に、
0:08:13	基本ケースの考え方を4章に移してございますので、ここは大分簡素化した記載に修正したというものになります
0:08:25	76 ページをお願いいたします
0:08:40	こちらは、
0:08:43	下北半島中軸部高速度層の高木に基づく地震の地震動評価のまとめのページでございますけども、
0:08:50	審議を特定せず策定する地震動との比較を記載すると。
0:08:54	この中で、
0:08:56	黒い2点鎖線。
0:08:59	留萌の地震というものを、
0:09:01	今回新たに追加しております
0:09:04	それから、震源を特定せず策定する地震動につきましては、前回のヒアリングでご指摘ありましたように、参考という位置付けで、判例にですね、明記するようにいたしました。
0:09:19	同じく78ページ、こちらは内陸地殻内地震のまとめということで、
0:09:25	横浜断層による地震、それから、下北半島中軸部の地震についてまとめたものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	こちらは前回、震源を特定せず策定する地震動が記載してございませんでしたけども、
0:09:37	ヒアリングでのご指摘踏まえまして、震源特定せずを記載したという修正を行っております
0:09:49	次に、す別な資料、
0:09:52	資料ナンバーは右肩、0104 という資料になります
0:09:59	こちら 6 ページをお願いいたし。
0:10:07	こちらは大間崎付近に想定される F 14 断層の影響を評価したものになります。
0:10:14	F 14 断層自体の評価は変わりませんが、その比較として、前は小浜断層を記載しておりました
0:10:22	ただ本編 4 章に示す通り、中軸部、
0:10:27	の高速度層高尾に基づく地震というものを評価してございますので、
0:10:31	そこも合わせた形で、本編に合わせた形で修正をかけたものになります
0:10:39	それから細かいですけど 26 ページお願い。
0:10:48	すいません。27 ページです。すいません失礼しました
0:10:53	こちらの A s p e r i t y の影響について検討したパートでございますが、前はですね、左側の応答スペクトルの黒い線と赤い線、それから右側の、
0:11:04	アスペリティの配置の黒いセンター回線が、入れ違った形になっておりました。で、その色、応答スペクトルの方を修正して統一したものに記載修正かけたものになります
0:11:19	続いて、32 ページこちらは、
0:11:23	標準応答スペクトルの検討のパートになります
0:11:27	この中で、35 ページをお願いいたします
0:11:34	こちらにはですね、マグニチュード 6.9。
0:11:38	計、
0:11:42	振幅包絡線の経時的変化の計算した諸元を、考え方を記載するというこ とで、
0:11:48	矢羽根二つ目の、
0:11:52	真ん中ぐらいですね、振幅包絡線の形成県下の諸元はという部分になります。
0:11:57	こちらについて、
0:12:00	アンケートを記載したと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:02	で、読ませていただきますと、震源を特定せず策定する地震動に関する検討チームの報告書を参考に設定したということで、
0:12:10	検討チームでは、Mw6.5 未満の地震を対象に震源規模の記録を収集し、
0:12:16	距離補正や地盤補正を行った後に東京統計処理によって標準ソフトを設定している。
0:12:23	その妥当性を、
0:12:24	もう一度 6.9。
0:12:26	Mw6.5 相当。
0:12:28	薬 90 キロとしては N E D O の大達の比較から確認しているということがございます。
0:12:34	これを踏まえまして、M6.9。
0:12:38	X e q 10 キロというものを、
0:12:42	そう設定したというものになります。
0:12:47	それから 38 ページ。
0:12:49	になります。
0:12:51	こちらは、永井さんからご指摘でいただいたコメントでございまして、
0:12:57	36 ページこちら、海部地震基盤相当のモリは、になります。
0:13:03	それと 38 ページの解放基盤表面にいる茂木派のですね、時刻ずれがちょっとあるのではないかというご指摘をいただきました。
0:13:11	で、ここでは、時刻ずれを考慮しまして、葉系のですね切り出しを修正したというものになります
0:13:21	前回からの修正点は以上でございます。
0:13:32	説明以上ですか。
0:13:36	はい。以上です。はい、じゃあ、審査側から何か福音事項あればお願いします。
0:13:41	はい。規制庁佐藤ですけど。
0:13:44	4 章のところに、
0:13:49	結構前は 5 章のですね地震動評価の考え方みたいなのを 5 章に書いていただいていたんだけど、4 章の方の検討用地震の選定のところにそのまま持っていったと例えば 28 ページとかなんですけども、
0:14:04	持っていったっていうのはこれ、もう 1 回ちょっと腑
0:14:08	その趣旨っていうか心を少し説明していただきたいんですけども。
0:14:12	要するにあれですか今回 M でルターで落として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:18	大きいケースだけ採用するんだけど、
0:14:21	その前段のその考え方を少し 28 ページとかで丁寧に説明したというそういう理解になるんですかね。
0:14:30	はい。東北電力の福士です。
0:14:32	おっしゃる通りでございます
0:14:35	28 ページ、ご覧なっていたきたいと思うんですけども、
0:14:39	この藪 (1) のですね、家震源として考慮する活断層地震の規模というところを、2 番目ただしという部分、アンダーラインが引いてある部分であります。
0:14:49	ここではですね横浜断層、それから敷地東方沖断層で度西方断層による地震については、保守的に、地表地震断層としてその全容を表す規模では、
0:15:01	M0 が 7.59 から 10 の 18 乗という、
0:15:04	規模になりますけども、それを考慮したところで、
0:15:07	前回もですね実はこの三石については、農芸中度 7 というのを想定していて、地表に活断層があらわれる規模よりもずっと大きい最初からもう保守性を見込んだ評価にしていたということになります。
0:15:22	ただそのこの部分の説明が、前回 4 章では抜けていたということがございましたので、ここでは、
0:15:29	丁寧に記載をさせていただいたと。
0:15:32	そうすることによって 4 章での基本ケースの設定と、5 章での横浜断層の基本ケースの設定も、整合がとれたという形で、
0:15:45	になります。
0:15:45	ですので、佐藤審査官おっしゃる通り、少しその考え方を丁寧に変えたと。
0:15:52	m J た図の方については、その選抜するためのちょっと追加として入れたということで記載を追加したものになり、
0:16:02	合わせてですね、20、
0:16:06	32 ページのですね、下北半島中軸部高速度層の高いに基づく地震というものについても、
0:16:13	28 ページの横浜断層なんかと同じようにですね、等を合わせた形で、こちら基本ケースの考え方を、
0:16:21	しっかり、この 4 章での説明をまずするというふうに改めたというものになり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:31	はい、佐藤です。わかりました。
0:16:34	それで 33 ページには前に、前のヒアリングで、コメントしてましたけども、結局その検討用地震として横浜断層とそれから、
0:16:44	高速度層の高まりに基づく地震これ、二つ考えましたということなのでここにその二つ、
0:16:51	応答スペクトルの図をですね、の大統領による図を付けつけていただいたという、そういうことでよろしいですね。
0:17:02	はい。東北電力福士です。
0:17:05	おっしゃる通りです。前回は、下北半島中軸部の地震には、別な枠で考えていたという設定だったんですが
0:17:15	ご指摘を踏まえ、ご指摘の通りですね。
0:17:17	検討用地震としては、一つ、数字をと数字というか、同じ尺度でもってまず選定するべきだろうというご指摘をいただきまして、
0:17:26	これは過去の地震、それから余活断層主、それから地質構造上の特徴から踏まえた地震というものを 1 度、同じレベルで比較すると、その中で二つを、
0:17:38	選定するというふうに改めたというものです。
0:17:42	はい。考え方は了解しました。
0:17:45	※書きの 4 なんですけども、これはちょっと教えて欲しいんですけども。
0:17:49	今のその高速度層の高まりに基づく地震については、距離、
0:17:56	距離減衰式的的土台達の適用範囲外になりますというお話なんですけども、その場合は大東 R の適用範囲内で最も小さい 11 キロを採用して書いてあるんですけど、
0:18:10	これは
0:18:12	いつもの適用範囲、適用範囲外を検討する図をイメージすればよろしいですかね。
0:18:21	はい。東北電力の福士です。はい。おっしゃる通りです。
0:18:26	続説明資料のですね、
0:18:31	8 ページ。
0:18:33	の図になります。
0:18:35	で、これをご覧になっていただくと、
0:18:39	マグニチュード 6.8、これは主中軸部断層のマグニチュードですけどもその 6.8 の場合は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:49	この青い線ですね、この部分がですね、ちょうど
0:18:53	10.8 キロという数字になります。
0:18:57	ですので、アスペリティを考慮して、きちんと等価震源距離を出すと。
0:19:03	本編資料 33 ページの下の表のあるように、
0:19:07	9 キロという数字になって厳密に言うと適用外になると。
0:19:11	ただし、
0:19:12	ここの 33 ページの目的は、何が影響大きいのかというのを選抜するための指標というふうに考えています。
0:19:20	したがって、
0:19:22	この救急医療よりも大きい 11 キロというのを適用した場合でもご覧のように、選抜されるということで、
0:19:31	下北半島中軸部、それから横浜断層の技術指針というのが選定されるという形です。ここではあくまで、
0:19:38	地震動評価というのを選定するための大小比較という位置付けで、こういう記載とさせていただきました
0:19:45	はい、佐藤ですそしたら選抜するにあたっての、
0:19:50	評価なので、11 キロであっても
0:19:57	選ばれますというそういうことを言いたいというそういうことですね趣旨ですね。
0:20:03	はい。東北電力福士です。おっしゃる通りです。
0:20:10	はい、わかりました。私の方から先に
0:20:15	進みますけどもあとは前回からの変更点は、うん。76 ページですか。
0:20:24	76 ページ最後の、
0:20:27	高速度層の高まりに基づく地震の地震動評価結果なんですけども、
0:20:32	ここにですね特定せずの加藤ほかとかですねそれから留萌とか、
0:20:40	標準音スペクトルとかこれは載ってないか。
0:20:44	ちょっと持ってるな。うん。標準応答スペクトルとか入ってるんですけどもなかなか図がですね込みってこの黒がですね。
0:20:50	見えにくいんというところがあります。
0:20:53	というところもあるんですけども、ここはですね、中軸部の高まりに基づく地震の地震動評価結果だけを示した方がよさそうな気がするんですけども、
0:21:06	そうでもないですか。
0:21:10	76 ページはですね、こちらは中軸部の断層の地震だけを変えている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:17	うん。ですね。はい。
0:21:19	4 ケースあって、それぞれ断層モデル手法と、
0:21:24	各種距離減衰式よるものでさらに各破壊開始点が幾つかあるということで、どうしてもこれ複数の線になってしまうというところでした。
0:21:38	78 ページの方はこちらは、横浜と中軸部、重ねているんですが、
0:21:44	そのそれぞれのうち、大きいケースだけ記載しているのでちょっと比較的すっきりはしているんですけども、
0:21:50	76 ページはちょっと、
0:21:53	すべてを記載すると、ちょっとこういうちょっと見にくい、恐縮ですけどそういうような、
0:21:57	表現になってしまいます
0:21:59	はい、佐藤ですけども。うん。ですのでここは中軸部の地震動評価結果すべてをまとめとして多分表示されていると思うので、
0:22:10	ここはちょっと特定せず入れなくてもいいのかなというふうに思ったんですけど、78 ページで入れてますよね。
0:22:17	入れていただけてますよね。
0:22:19	はい。
0:22:22	こっちだけでいいんじゃないかなって気がするんだけど、
0:22:26	そういうコメントなんですけど。
0:22:31	あと 78 ページのこの苦労もなかなか見づらいところがあってですね。
0:22:38	苦労三つ載ってるんですが表示オートスペクトル加藤ほかとそれからルーム 1 と三つ載ってるんですけども、
0:22:45	黒なかなか見にくいものがありますねっていう感じなんですけど、
0:22:52	うーん。そうですね
0:22:56	この 76 ページのパートはですね、もともと特定施設を入れたというのは、
0:23:03	この下北中軸部の断層の大きさがですね、どのぐらい保守性を持っているのか、そもそも地表に活断層があらわれない地震としてどのぐらい保守性を持っているのかというのを、
0:23:16	特定製造物差しとして見たというパートになります。
0:23:22	ですので、78 ページにも入ってはいるんですが、本来的な趣旨でいうと 76 ページに、
0:23:29	記載するのが、
0:23:30	趣旨かな本来的な趣旨かなというふうに思います。で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:35	もしですね、ちょっと見づらいというものであれば、私からの提案なんです、
0:23:43	例えばこの76ページについては、黒い線をまず抜かさせていただくと。
0:23:50	で、さらにちょっともう1ページ、パートを追加して、そこで例えば、
0:23:58	中軸部断層については、
0:24:00	すべて、
0:24:01	すべて色をですね、灰色かなんかで書かせていただいて、
0:24:05	特定せずの地震だけ、浮田つ形で色をつけるとかですね、そういったちょっと工夫の余地はあるのかなと思います。
0:24:18	表示方法、
0:24:23	はい、すいませんちょっと見やすさの観点ですねそういうふうにしていただけるとありがたいなと思いますね。
0:24:31	これなかなかどれも込みって感じになっちゃったんで結果的にはね。
0:24:40	その方がいいかなと思ってますけども、確かに前回の審査会合でのコメントは
0:24:46	この中軸部の高速度層の高まりに基づく地震の地震動評価とのそのレベル感としてですね、
0:24:56	標準スペクトルを見たいという、そういう趣旨であったので、
0:25:01	そういう趣旨からすると今のような
0:25:04	別の図面でご説明いただく方が我々として理解がしやすい、見やすいと。
0:25:11	いうふうなことで、
0:25:12	そういうふうに対応していただければ幸いですけども、いかがですか。
0:25:18	はい。そうしましたらちょっと表現工夫してみたいと思います。ありがとうございます。
0:25:26	すいませんあと補足説明資料になりますけども、
0:25:32	藤さん15ページで、
0:25:39	これも先行サイトに行ってますけども規模、それから等価震源距離ってことです。6.9それから10キロということだったんですけどもそういうふう考えた理由として、今日説明ありましたけども、※書きで、
0:25:52	特定せずの検討チームの取りまとめ報告書というふうなことを引用して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:59	それによってもってですね、
0:26:02	そこで決めた標準応答スペクトルを検証するために
0:26:06	こういった規模、等価震源教員を採用しているというふうなことで説明 ありましたけども、
0:26:12	そうすると今までその電力さん、
0:26:15	他の電力さんが説明してきたような、
0:26:18	理由とはちょっと違っていてどちらかという今日の説明は2月にです ね、京都大学KURのですね、標準応答スペクトルの審査会合、
0:26:28	やりましたけども、
0:26:30	そのときの京都大学の説明と同じように、私たちにはちょっと今聞こえ たんですけども、
0:26:37	そういう理由でよろしいですか。
0:26:41	ちょっとそこだけ確認させてください。
0:26:45	はい。東北電力福士です。はい。おっしゃる通りでございまして、
0:26:51	偶然といいますか京都大学の
0:26:55	表現と似たような表現と同じような表現とさせていただき、
0:27:04	はい、わかりました。そういう考え方をに基づいて6.9と10キロ考えた というふうなことですね。
0:27:11	わかりました。
0:27:13	あと、ルーム市町の地震は、
0:27:16	もう一生の地震はちょっと戻りますけども、土門市長の地震。
0:27:21	ホームページ見れば、
0:27:22	本編資料ですかね。
0:27:26	67 ページ。
0:27:28	60、76 ページか。
0:27:30	すみません戻って恐縮です。
0:27:34	両市長南部の地震については、港町観測点はV s 938 メーター / s e c ということなんですけども、
0:27:45	御社の場合はそれ以上の一番速度なので、
0:27:50	水平で620円直で320そのまま入れているというそういう理解でよろし いですか。
0:28:01	はい。東北電力福士です。
0:28:05	このですね、※3にある通り、港町観測点の基盤のはぎとりは2、
0:28:12	誘導を考慮したものとして620あるというのを、記載したと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:19	はい。一番の補正を行ってないということです。
0:28:22	はい、了解しました。
0:28:25	私からちょっと気づいたところ以上になりますけども他の審査官から、何かお気づきあればお願いします。
0:29:00	永井から保育してきたことじゃないかと、いくつかあるんですけど、何点かよ。
0:29:07	はい。よろしくお願いします。
0:29:11	まず先ほど佐藤から、6.97%しか四国電力をこの説明を最初してきてって、
0:29:19	JMされたんじゃないかなという記憶してます。まずそれは、コメン。
0:29:23	そうです。
0:29:24	で、衛藤2ヶ所ほどちょっと4ですよ。読みづらさと、何か悪い印象を持ってしまったところがあるんですけども、補足。
0:29:32	区の方の話をそこを先に。
0:29:35	言いますと、26ページ。
0:29:42	の、1行目の後半の所、
0:29:44	断層モデルを流用ってちょっとこれ、よくない印象を私、読んでいけません。
0:29:49	運用って言葉になった。
0:29:52	あとは、多分これ、途中接続詞の問題だと思うんですけども、本資料の28ページ。
0:30:02	すいません。ちょっとお話の通り、押尾李様で、
0:30:06	今ほど補足説明の26ページのところの、
0:30:11	あんまりよくない表現というのは、
0:30:13	すみません、どちらになりますでしょうか。
0:30:16	流用って言葉ですね。
0:30:21	岩田ですけど多分一つ目の矢羽根ですね、後ろの方に基本ケースの断層モデルを流用し、地表延長分をねらうって書いてあるところの流用がよろしくないんじゃないかってのは多分、
0:30:33	声が聞こえづらかったんで、多分そういうことを言ってると思います。
0:30:38	はい。ナガイでそういうことです。
0:30:39	わかりましたここは
0:30:43	この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:44	20 キロモデルのですね基本ケースと同じものを用いて別な検討をしているというニュアンスをちょっと出したかったんですが、
0:30:53	ちょっと表現は、考えたいと思います。ありがとうございます。サトウですけどそしたらまた、流用じゃなくていや用いて使え使いとかそういう平易な言葉でいいんじゃないですか。
0:31:09	はい。ありがとうございます。ちょっと修正かけたいと思います。はい。私から以上ですはい。どうぞ。
0:31:15	はい。
0:31:16	友岡本資料の方の 28 ページの、
0:31:19	(1) の都丸ポツの、
0:31:23	一つ目のですよ、二つ目の矢羽根の、
0:31:26	どこで、
0:31:27	言いたいことは何回か上をわかったんです。1 ヶ月って落ちなくて、
0:31:31	ちょっと文書をぶる。
0:31:33	設置すると多分、2 行目の冒頭に言ってるところ。
0:31:37	そういうところで逆説のがついてもう 1 回 3 行目で広がっているものって言って、
0:31:43	いうふうになって、逆説が 2 度ある中で、最初のやつは逆説になってないからちょっと読みづらかったなという印象を受けたのでちょっとここは、
0:31:52	ちょっと文章を読んでストンと落ちるようにちょっと考えていただきたいなと思います。
0:31:58	私から以上です。
0:32:01	はい。ありがとうございます。
0:32:03	今ほどの 28 ページの各再確認ですけども、
0:32:08	(1) の二つ目の矢羽根の一つ目のポチ、
0:32:13	長い部分ですがここがちょっともう少しわかりやすく、
0:32:18	したらどうかということでよろしかったでしょうか。
0:32:24	はい、永井ですそういう趣旨です。ちょっと読みづらいなという印象を受けてしまったので、
0:32:29	考えが簡単に伝わるように、
0:32:32	ちょっと文章を考えられた方がいいかなと思います。
0:32:37	はい。ちょっと
0:32:39	工夫しますが正確を期すとちょっとこういう表現になってしまうので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:44	はい。ちょっと工夫したいと思います。
0:32:51	永井さん以上ですか。
0:32:55	はい。私から以上です。中村さん何かありますか。
0:33:04	中村ですけれども特に、
0:33:07	ありません。
0:33:15	すいません岩田ですけれどもえーっとですね資料の 0104 海域のコメント回答の補足説明資料で、35 ページで、先ほど標準応答スペクトルのですね 6.9 の話が出たと思うんですが、
0:33:29	御社の対応としてはですねこれ申請ベースでこう書いていただいているんですが、今後今何かやられてることってあるんですか。
0:33:40	はい。東北電力の樋口でございます。
0:33:43	補正の申請の中においては、S s との比較をします 600 G a l の S s、申請時に設定していますが、その内側に入ってますというところまで、ご説明していますが、
0:33:58	今回は参考資料ということなので S s の比較は入っていない、S s の内側に入っているということなので、
0:34:06	その他多くの検討というのはお示ししていないというようなことであります。以上です。
0:34:12	そうすると、そもそもその S s、S s の何番かわかりませんが S s いわゆる他で言うところの S s の 1 番ですかね、それに、の内数になっているので、そもそもこれは最終的に、
0:34:24	いわゆる基準地震動には選定されないで申請ではこう書いてありますという説明だけをしてあるとそういうことですか。
0:34:32	はい、さようでございます。
0:34:34	それはね
0:34:35	補足なんですけど、丁寧に書いておいてもらえばよくて、
0:34:40	要はね先行のプラントでは M7 の話がいっぱい出ているので、ここだけ書いてあるとやらないんですかというくだらない議論をしなきゃいけなくなりますよね。先行審査の知った上で、もう今のご説明いただいたように、
0:34:52	S s の一番に包絡されるのでこれ基準地震動には選定されないと、従ってこれ以上の評価しませんよということはですね明確に書いていただいた方がですね、余計な議論しなくていいのでいいと思うんですが、
0:35:07	はい。東北電力の樋口でございます。そうしましたらばこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:13	最終的には応答スペクトルの中、38 ページとかでございませけれども、
0:35:19	はい。文章。
0:35:22	だ形なのかそれとも、申請時の S s なんかもお示しして最後書いといた方がわかりやすいかなとも思うんですけれども、スペクトルとかこう手を入れさせていただいてもよろしいでしょうか。
0:35:35	1%だけ入れといていただくんならそれでもいいですしそれを比較していただいて、所詮超えないので、ここまでの検討はしたんですけれどもこれ以上の検討はしませんよとそういうことですよね。
0:35:49	はい。わかりました。ちょっと水。はい。
0:35:54	東北電力広谷ですけども前回ちょっと我々からもそういったご提案というかご相談させていただいたんですけど、
0:36:01	やはり今回はあくまで内陸地殻内地震の審議だということで、佐藤審査官の方からもやっぱり S s は記載しておかないほうがいいんじゃないかというお話があったので我々もそうだなと思って、こんな形に公開させていただいておりますけども、
0:36:16	それでのスペクトル図まではちょっと書くと、焦点がぼけるような気がしたりします。ただ、余計な議論を呼ばないためにも申請、
0:36:26	今の現状においてはですね、S s に入りますよっていうそういうのを確認のためにやってるということで 6.9 っていうのを採用したってというのは、私はあの文章でですね、追記させて、
0:36:38	いただければなというふうに思っております。いかがでしょうか。はい。確かにまだね S s が決まってないので S s を欠くことの意味というのはないので、方針としてですね、多分そこに、
0:36:48	内数になるだろうから我々が言っている 7.0 の意味合いから考えればですね、あえてそういう計算というのはしなくてもいいですよとそういうことをですねわかるように書いといていただければそれで結構です。
0:36:59	あくまでも我々そのスペクトル
0:37:02	を設定する時には 6.9 と重々承知した上で、模擬地震は作る時にその継続時間に着目するというだけでもコメントなので、そもそも S G 入ってこなければ関係ないんですね、そこは明確に文章で書いといていただけますか。
0:37:17	はい。東北電力の樋口です承知しました。文章でその辺丁寧に書かせていただきたいと思います。以上です。
0:37:24	はい。あと私からはもう 1、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:27	本編。
0:37:31	資料の 0103 回 1 というコメント回答の方の本編の資料の、76 ページあたりからですね、
0:37:40	評価結果の表に加藤スペクトルがまだ残ってるんですが、これは申請の中にも入ってるということで今後もこれは残すつもりでいるんですか。
0:37:54	はい。東北電力福士です。
0:37:56	ここもちょっと前回、えーとですね、申請の時にですね我々
0:38:02	加藤スペクトルも特定せずとして出してるということもありまして、
0:38:07	それでは、記載させていただいたというところでございます。
0:38:13	すいません北井の今後の考え方です。
0:38:20	はい。東北電力の樋口でございます。ちょっと特定スルーが終わってから特定せずの方を取り掛かろうと思ってましたんでまだ社内で確定はしていません。ただ、
0:38:33	はい。規則が変わったことは重々承知してまして、14 地震からの選定で加藤スペクトルを使うというような、今までやってきたのとはまた違うということもわかっておりますので、
0:38:44	ちょっとお時間をちょうだいして次回以降ご回答させていただくことになろうかと思えます。すいません今の時点では決まってないというのが状況でございます。わかりました一応、
0:38:55	認識をされてるということなり、わかりましたので今回の議論はあくまでも内陸地殻内地震なんでこれ後にもうちょっとちゃんとしっかり、的対応も含めてご説明いただくということで了解しました。ありがとうございます。
0:39:11	私からは以上ですが他に何かありますか。
0:39:22	規制庁の松末です。本当小さなことなんですけど本編の 23 ページの、
0:39:31	一番下の矢羽根の右端、ちょっと漢字の間違いがあるまで、
0:39:37	他もあわせて、もう一度ご検討いただければと思います。
0:39:42	以上です。
0:39:46	はい、ありがとうございます。
0:39:48	すみませんありがとうございます。23 ページの二つ目の足一番下の矢羽根の、
0:39:53	狭隘な構想の総務というところよろしかったでしょうか。
0:40:05	どそうだと思うんです。はい。
0:40:08	はい、了解しました。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:18	すいません佐藤ですけども、24 ページとかでもね、多分同じ
0:40:23	そうかそうでもないか。
0:40:26	他にもあるかもしれませんのでちょっと確認をしておいてください後 で、
0:40:31	はい。東北電力福士です。はい。大変申し訳ございません。再度チェッ クいたします。
0:40:40	他にないようであれば、以上ですかね。東北電力から何かありますか。
0:40:49	東北電力の佐藤です。特にございません。
0:41:00	はい。本日のヒアリング以上にしたいと思います。お疲れ様でした。
0:41:06	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。